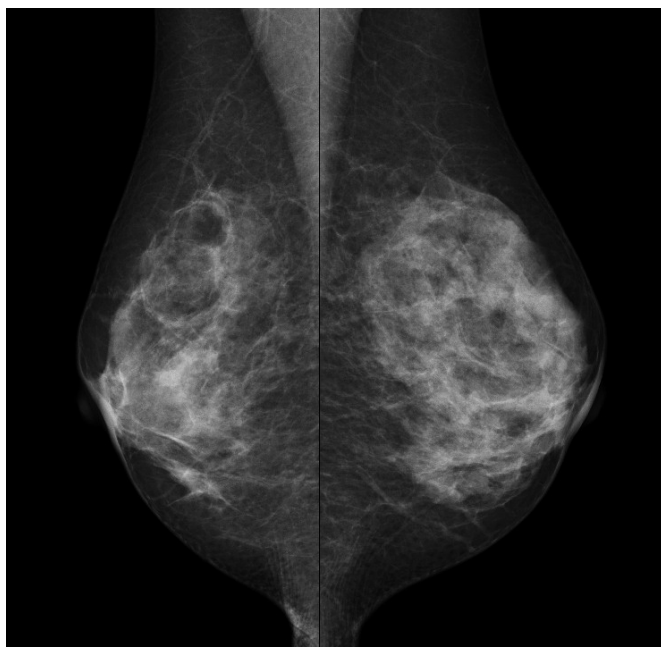
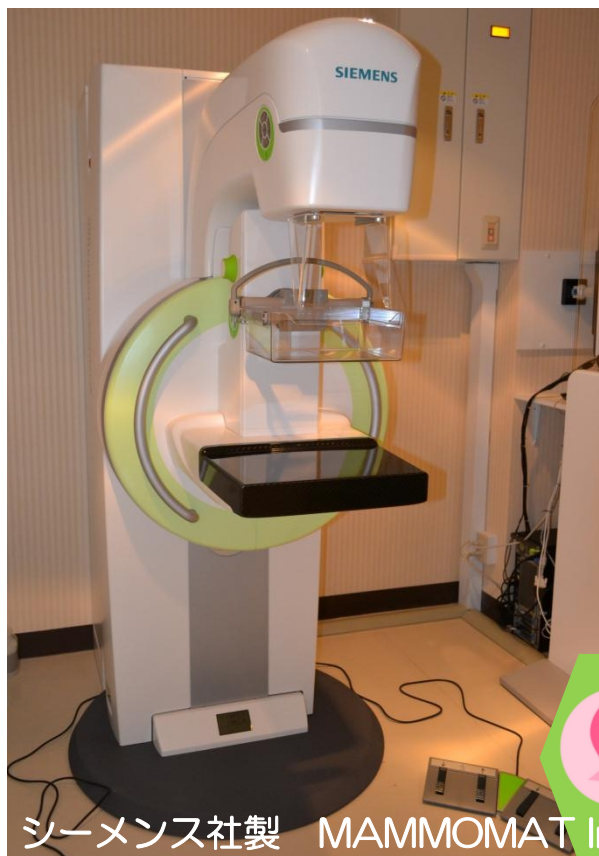


日本人の 9 人に1人が乳がんになる時代です！

自分は大丈夫と思っていませんか？

マンモグラフィ検査をおすすめします！



2018年4月

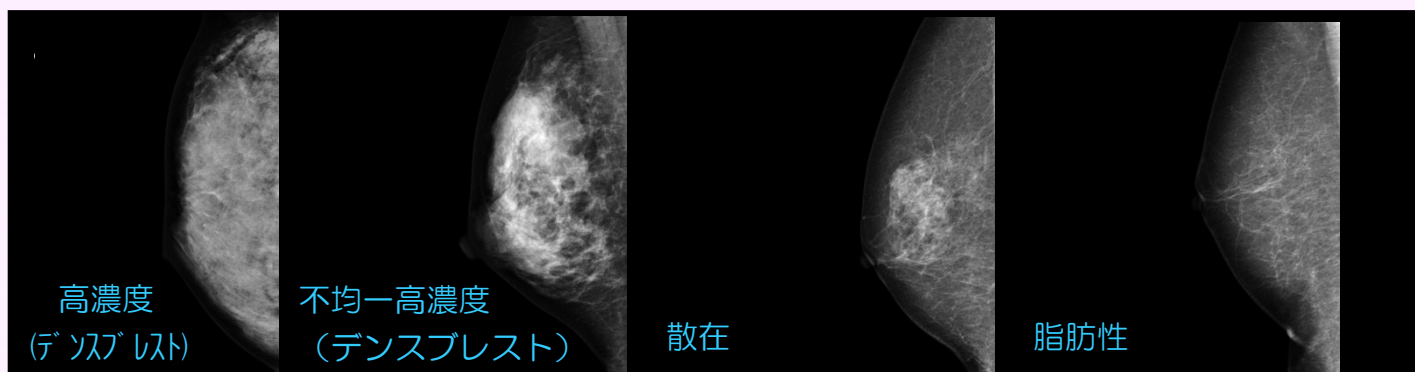
乳房撮影装置

を導入しました。

シーメンス社製 MAMMOMAT Inspiration



トモシンセシス撮影とは



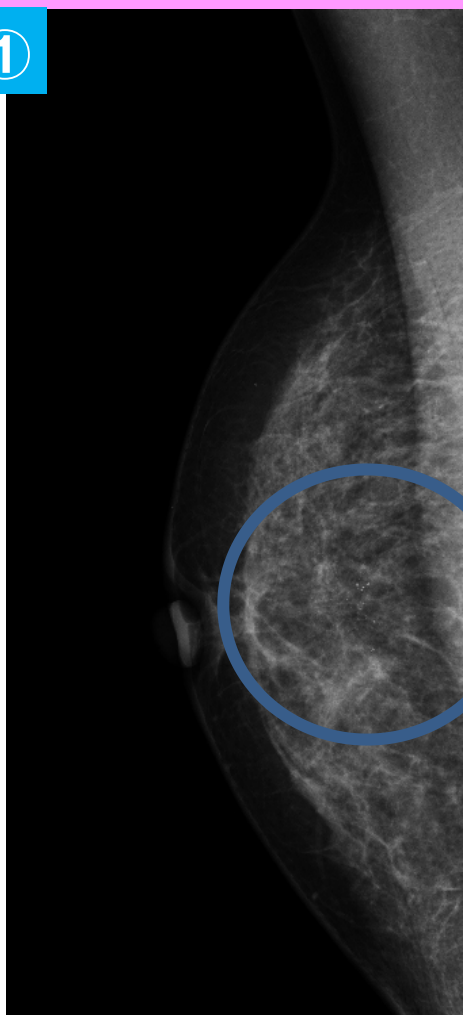
上に示したように乳腺濃度は人により様々で、日本人に多いとされている高濃度乳腺（デンスブレスト）の方は、乳腺量が多いため、通常のマンモグラフィでは病変があったとしても乳腺の中に隠れてしまい、病変を見つけることが難しいことがあります。

そこで、乳房を複数回撮影することにより、乳房を断層像としてとらえる技術が開発されました。乳腺の重なりにより発見が困難であった病変を3次元的に再構成し断層像として描出することで、乳がんの鑑別を高めることができます。

従来の検査に比べ、圧迫時間は長くなりますが、より精密に検査を行うことができるため、近年罹患率が上昇傾向にある乳がんの早期発見に役立てられています。

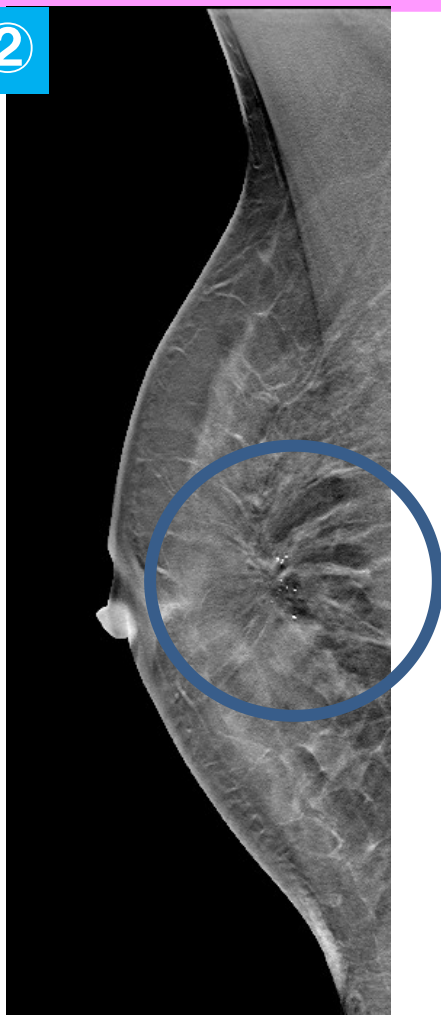
乳房精密検査画像

①



右側の乳房を斜めから撮影した像

②



① のトモシンセシス画像

① 右の乳房を斜めから撮影した画像

② ①のトモシンセシス画像

従来の乳房撮影と異なり、トモシンセシス撮影では任意の断面で病変を観察することができます。

このため乳腺量の多い方でも病変の描出能が格段に向上します。

以前の装置と比べ、撮影1方向ごとの被ばく線量が低減したため、トモシンセシス撮影を追加した場合も以前の装置と比べて被ばく線量は同程度となっています。

上記の画像は、乳がんの方を撮影した画像になります。

がんの治療方法は様々あり、治療方針の方向性を決めるためにもがんの伸展を調べることは重要となっています。①の画像は通常のマンモグラフィの画像となっており、②の画像はトモシンセシスの画像となっています。トモシンセシスは断層撮影となっているため、がんの伸展具合を描出することに優れています。

乳がんにかかりやすい方は、

- 近親者に乳がんになった方がいる方
- 早い初潮や遅い閉経の方
- 35歳以上での初産や出産経験のない方
- 授乳経験のない方

ご希望の際はスタッフへご相談ください。